

2016年3月22日
〈プレスリリース〉

「草の根・人間の安全保障無償資金協力」

サンパウロ州グアルーリョス市
「グアルーリョス高齢者ホーム改修計画」
に対する草の根・人間の安全保障無償資金協力の贈与契約署名式について

在サンパウロ日本国総領事館

去る3月15日（火）当館において「アシステンシア・ソシアル・ドン・ジョゼー・ガスパール（社会福祉法人救済会・憩いの園）」に対する我が国草の根・人間の安全保障無償資金協力の贈与契約署名式を吉安園子会長と当館中前隆博総領事の間で行いました。

●出席者の挨拶：

中前隆博総領事

「これまでも何度も訪問させていただいてきた。又、今年は秋篠宮同妃両殿下や五木ひろし氏の訪問などあった。憩いの園はそれだけ日系人や日本人の皆様にとって心に訴える施設だということ。これは関係者の貢献の賜、敬意を表する。この支援による施設の改修が憩いの園の末永い活動に資することを祈っている。今回の協力により入居されている高齢者の方々がより快適で安全な生活・希望に満ちた生活を送ることが可能となることは我々にとっても大変な喜びである。」と祝辞を述べました。

吉安園子会長

「私達は、日本国政府に協力をしていただいたことに敬意を表するとともに、喜びと感謝の気持ちでいっぱいである。現在の施設は建築から25年が経ち、補修の必要性とともに、入居者の高齢化から認知症対策など建築当初の設計では考慮されていなかった要素が必要となっていた。時宜を得た資金協力によって施設を改修することができることに感謝申し上げる。これからも一人ではなくチームワークで多面的に高齢者を支えていきたい。」旨述べました。

相田祐弘第一副会長

「建築当初と比べ法律やブラジル衛生当局や消防の対応の変化もあり、それに合わせた施設の改修も必要とされていた。しかし、資金面は通常運営で手一杯であり手をつけることが出来なかった。今回この供与を受けることが出来たことで大変ほっとしている。日本政府の協力に感謝申し上げます。」旨述べました。

●案件概要：

「アシステンシア・ソシアル・ドン・ジョゼー・ガスパール（社会福祉法人救済会・憩いの園）」は1953年に設立され、現在は約80名の高齢者の生活サポートを行っています。

高齢者が使用している施設は80年代のままであり、建物は雨漏りや破損等老朽化が進んでいたため改築を行う必要がありました。

今回の協力は、施設の改築に58,298米ドルを限度に無償資金供力を行うもので、同施設の高齢者の方々の生活をより快適なものにするものです。

(問合せ先) 在サンパウロ日本国総領事館経済班
(0 x x 1 1) 3 2 5 4 - 0 1 0 0



中前総領事、吉安園子会長、相田祐弘第一副会長、本田泉専任理事